

生活支援看護学	水田真由美	教授
Life Supporting Nursing	池田理恵	教授
1年次前期・選択	山田忍	教授
2単位・30時間	岩村龍子	非常勤講師

### 【概要・目標】

人の健康問題に影響を及ぼす生活習慣・環境、家族や社会との関わりを理解し、生活支援における看護の方法・あり様を学ぶ。また、地域社会の変革とともに人々が主体性をもって自己の生活課題を克服できるように支援するために、必要な課題の解決方法などを具体的に検討し、創造力やコーディネートする力を育成する。

### 【授業内容のスケジュール】

(担当)

1) セルフケア支援 ①健康推進に向けたセルフケア支援のあり方 (講義)	水田
2) セルフケア支援 ②実践事例を素材とした討議 (演習)	水田
3) セルフケア支援 ③先行研究を素材とした討議 (演習)	水田
4) 母子の睡眠環境と支援①アメリカ小児科学会のガイドライン (講義)	池田
5) 母子の睡眠環境と支援②諸外国と日本の SUID 予防 (講義)	池田
6) 睡眠と寝床内気候 (講義)	池田
7) がん患者と生活環境, 疾患への適応 (講義)	山田
8) がん患者各世代における支援 (講義)	山田
9) 施設から在宅に繋ぐための生活支援 (講義)	山田
10) 生活支援全般を測定する尺度の活用 (演習)	山田
11) 地域社会の変革を踏まえた課題の明確化 (演習)	山田
12) ヘルスケアシステム ①ヘルスケアシステムのあり方 (講義・演習)	岩村
13) ヘルスケアシステム ②ヘルスケアシステムづくり (演習)	岩村
14) ヘルスケアシステム ③ヘルスケアシステムづくりにかかる事例を素材とした討議 (演習)	岩村
15) ヘルスケアシステム ④地域包括ケアシステムにおける看護の役割 (演習)	岩村

### 【評価】

資料収集、発表・討議 (30%)、レポート等 (70%) により総合的に評価する。

評価責任者：水田真由美

### 【教科書】

必要に応じて掲示する。

### 【推薦参考図書】

必要に応じて掲示する。

### 【その他】

演習は、学生主体によるプレゼンテーションおよびディスカッションを行う。